



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大澤 勝
 問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）岩場 潔 TEL 03-3344-8861
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	7,937	3.6	741	△19.7	679	△22.5	636	△21.3
2026年3月期第1四半期	7,664	8.9	923	23.0	876	22.9	809	22.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 640百万円（△20.9％） 2026年3月期第1四半期 809百万円（22.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	114.57	—
2026年3月期第1四半期	145.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	44,194	18,353	41.5	3,302.68
2026年3月期	43,895	18,326	41.7	3,294.77

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 18,353百万円 2026年3月期 18,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	120.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	31,000	2.0	3,400	2.9	3,200	2.5	1,950	△28.0	350.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2027年3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	5,564,200株	2026年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	7,136株	2026年3月期	7,131株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	5,557,068株	2026年3月期1Q	5,556,174株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるインバウンド市場は、前年の急拡大局面から安定成長局面へ移行しつつあるものの、円安を背景に旅行消費は引き続き高水準を維持しました。また、国内旅行やゴルフ需要が堅調に推移したことに加え、企業における人的資本投資の拡大を背景とした研修需要の増加もあり、事業環境は引き続き堅調に推移しました。一方で、中東情勢などの地政学的リスクや物価上昇など、先行き不透明な状況が続いており、今後はコストの上昇や訪日外国人旅行者数の変動がリスク要因となる可能性があります。

このような経営環境のもと、当社グループでは、インバウンド需要について国・地域ごとの特性に応じた対応を進めるとともに、国内需要の取り込みに向けて、マーケティング施策の強化やニーズに即した商品・プランの造成に注力しました。あわせて、インフレ局面における仕入コストや人件費の上昇に対し、適切な価格転嫁を進めるとともに、それに見合う顧客サービスの品質向上と提供価値の充実に努めました。さらに、あらゆる事業環境において選ばれる企業を目指し、ブランドイメージの強化にも取り組みました。

さらに、グループの価値基準である「あなたのオフを、もっとスマイルに。」のもと、高品質なサービス提供を図り、お客様の満足度向上に努めるとともに、長期方針である3つの「やさしい」（人にやさしい・社会にやさしい・地球にやさしい）を実践しました。

ホテル運営事業では、堅調なインバウンド需要に対して、各ホテルでアジア・欧米など地域特性に応じたプロモーション施策を展開しました。あわせて、ホテル館内での日本文化体験イベントや、専任スタッフ「サービスコーディネーター」による周辺情報の案内など、付加価値サービスの品質向上に取り組みました。これにより、国内宿泊者も含めた延べ宿泊数は堅調に推移しました。さらに、「後楽ガーデンホテル」を新たに運営開始したことにより増収となったものの、開業費や変動賃料などのコストの増加が利益の面に影響しました。また、「暮らすように泊まる。」をコンセプトに、滞在型貸別荘事業を展開する“リソルステイ”においては、中長期滞在、シニア、インバウンドに向けた商品ラインアップの拡充を進めました。

ゴルフ運営事業では、コース・クラブハウスの上質化やホスピタリティの強化など、プレー環境の改善に向けた施策を継続したことで運営は順調に推移しました。一方で、長引く梅雨など天候要因の影響を受け、業績は前年並みにとどまりました。また、酷暑対策としてクーラーカートの導入を進めたことなどから、夏季に向けた予約が好調に推移しました。さらに、ゴルフ&ステイ商品の強化に向けて、“フェアウェイフロントヴィラ”のさらなる拡大を目指し、「瀬戸内ゴルフリゾート」での第二期計画および「大熱海国際ゴルフクラブ」での新規計画の開発準備を進めました。

リソルの森事業では、ゴルフ部門（真名カントリークラブ）において、コースメンテナンスの向上やクラブハウス内施設の更新など上質なサービスの提供に継続的に取り組みました。リゾート部門では、愛犬同伴型高級ヴィラエリア「Dear Wan Spa Garden」が、引き続き高単価を維持しながら、稼働は順調に推移しました。また、近年需要が高まっている企業研修や合宿が好調に推移しました。こうしたニーズに応えるべく、森と一体化した開放感のある新たな研修施設「ハーモニーエリア」の開発準備を進めました。これらの取り組みなどにより運営売上は計画通り推移したものの、コスト増加が利益の面に影響しました。

ウェルビーイング事業では、業界最大級のメニュー数及び競合他社と差別化したプラン「精算プラン」「カフェテリアプラン（プラスユアチョイス）」「従量制プラン」を強みに、新規顧客の獲得に注力しました。また、企業へ専属的に寄り添う「ハウスエージェント」、パートナー連携のための「OEM戦略」など、新たなビジネスモデルの取り組み強化を図りました。同時に既存会員の利用促進のため、魅力的なサービスメニューの開発と利便性向上に努めたことで送客手数料が増加し、業績は好調に推移しました。さらに、SNSマーケティングを活用し、これまで福利厚生サービスとの接点が少なかった中小企業を成長市場と位置付け、新たなサービスの開発に着手しました。問い合わせからサービス説明、契約、利用実績の確認までの一連の業務をシステム化することで、中小企業でも大手企業と同水準の福利厚生制度を利用できるサービスの提供を目指します。

再生エネルギー事業では、売電事業および自家消費型事業を中心に展開しました。売電事業については、リソルの森の施設内において1.5MWの太陽光発電設備を運営しました。また、自家消費型事業については、当社グループのゴルフ場において新たなソーラーカーポートの建設の検討を進めました。

投資再生事業では、新規運営施設の開拓・仕入れの検討を進めるとともに、ゴルフ場にヴィラを建設するリゾート型再生など、保有資産の価値向上と新規事業の構築に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間は、ホテル部門における新規ホテル開業による増収があり、売上高は7,937百万円（前年同四半期比3.6%増）となるも、開業費や変動賃料などのコスト増加が影響し、営業利益は741百万円（同19.7%減）、経常利益は679百万円（同22.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は636百万円（同21.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、44,194百万円となり、前連結会計年度末に比べて298百万円増

加しております。これは主に有形固定資産その他(純額)が476百万円増加、貯蔵品が120百万円増加、建物及び構築物(純額)が87百万円増加、営業未収入金(純額)が411百万円減少等によるものです。

負債につきましては、25,841百万円となり、前連結会計年度末に比べて271百万円増加しております。これは主に流動負債その他が1,007百万円増加、賞与引当金が144百万円減少、長期借入金が534百万円減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年5月7日に公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,969	3,929
営業未収入金（純額）	2,083	1,672
商品	187	179
販売用不動産	1,158	1,138
貯蔵品	62	183
その他	910	963
流動資産合計	8,370	8,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,818	7,905
土地	19,248	19,284
その他（純額）	3,048	3,524
有形固定資産合計	30,115	30,714
無形固定資産		
のれん	211	201
その他	461	492
無形固定資産合計	673	693
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	4,736	4,719
固定資産合計	35,524	36,128
資産合計	43,895	44,194

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	426	434
短期借入金	1,700	1,700
1年内返済予定の長期借入金	2,801	2,801
未払法人税等	204	104
賞与引当金	342	197
役員賞与引当金	37	37
その他	4,528	5,535
流動負債合計	10,040	10,810
固定負債		
長期借入金	7,691	7,156
リース債務	955	1,069
従業員特別補償引当金	35	35
退職給付に係る負債	422	394
資産除去債務	201	202
預り保証金	5,653	5,604
その他	569	568
固定負債合計	15,529	15,030
負債合計	25,569	25,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948	3,948
資本剰余金	2,270	2,285
利益剰余金	12,107	12,133
自己株式	△18	△18
株主資本合計	18,307	18,347
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	1	5
その他の包括利益累計額合計	1	5
非支配株主持分	16	—
純資産合計	18,326	18,353
負債純資産合計	43,895	44,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,664	7,937
売上原価	2,177	2,338
売上総利益	5,486	5,599
販売費及び一般管理費	4,563	4,858
営業利益	923	741
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	2	2
受取保険金	1	2
還付金収入	1	1
その他	8	9
営業外収益合計	13	16
営業外費用		
支払利息	53	60
支払手数料	6	7
その他	0	11
営業外費用合計	60	78
経常利益	876	679
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	4	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	872	679
法人税、住民税及び事業税	55	33
法人税等調整額	6	9
法人税等合計	62	42
四半期純利益	810	636
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	809	636

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	810	636
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△0	3
その他の包括利益合計	△0	3
四半期包括利益	809	640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	808	640
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結損益 計算書計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウェルビーイ ング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	4,015	2,319	1,045	250	26	6	7,664	—	7,664
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	35	13	11	9	—	—	70	△70	—
計	4,050	2,333	1,057	260	26	6	7,734	△70	7,664
セグメント利益 又は損失(△)	824	311	83	13	12	△3	1,242	△366	876

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△366百万円には、セグメント間取引消去△51百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△314百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外収益であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウェルビーイ ング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
一時点で移転される 財	4,014	2,208	997	69	26	6	7,323	—	7,323
一定の期間にわたり 移転される財	0	110	48	181	—	—	341	—	341
顧客との契約から 生じる収益	4,015	2,319	1,045	250	26	6	7,664	—	7,664
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,015	2,319	1,045	250	26	6	7,664	—	7,664

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結損益 計算書計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウェルビーイ ング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	4,225	2,315	1,084	279	26	6	7,937	—	7,937
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	45	15	12	7	—	—	81	△81	—
計	4,270	2,331	1,097	287	26	6	8,019	△81	7,937
セグメント利益	741	301	50	43	7	0	1,145	△466	679

(注) 1. セグメント利益の調整額△466百万円には、セグメント間取引消去△63百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△403百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外収益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	ウェルビーイ ング事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
一時点で移転される 財	4,224	2,209	1,034	81	26	6	7,582	—	7,582
一定の期間にわたり 移転される財	0	106	50	197	—	—	354	—	354
顧客との契約から 生じる収益	4,225	2,315	1,084	279	26	6	7,937	—	7,937
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,225	2,315	1,084	279	26	6	7,937	—	7,937

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	304百万円	337百万円
のれんの償却額	13	9